

ガイド活動の紹介

富士市シティープロモーション課
実相寺ガイド

7月27日(金)9時40分～10時40分、60～80代の方15人を二組に分けて、星野、齋藤経子両会員が実相寺ガイドを行いました。実相寺の歴史、霊蹟本山石碑、一切経と立正安国論、総門、院の石碑、仁王門、鐘楼、本堂、日蓮略歴、祖師堂、講座石、日源の墓、米研ぎ井戸、一切経蔵を案内。天満宮、八所権現、七面山は写真で説明しました。

高齢者が多いので、日陰で説明と休憩を入れながら移動。一切経蔵で終了のご挨拶。参加者は各自で下山しました。最初に実相寺のリーフレットをお渡ししました。説明を聞きながらメモを書き入れる方もあり、大変熱心に聞いていただきました。阿吽の呼吸と日蓮上人流刑、日蓮像御開帳の話などで会話もはずみ、八角経蔵の写真を、大変興味深げに見ておられました。

もう一度ゆっくり来たいとの声もあり、バスに乗る時、皆さんから笑顔でお礼を言っていただきました。



「旅人企画」：吉原宿木之元神社
定点ガイド

9月16日(日)8:40～9:40、40名弱のツアー参加者に、木之元神社にて壽会員、市川会員が吉原宿の成り立ち、関連する史跡、富士市の概要などをガイドしました。

蚊の被害に悩まされつつ、壽会員の名調子にイヤホンを通して皆さん聞き回していただきました。大きくした写真を紙芝居風で使用しての話が大変分かりやすく、とても引きつけられたとのことです。



吉永第一小学校2年生
竹採公園ガイド

7月11日(水)8時45分～9時40分、吉永第一小学校2年生 2クラスの生徒及び先生総勢63人に、岡田、太田昭道、白坂各会員が竹採公園ガイドを行いました。

ガイドコース：駐車場→園内白隠禅師墓→竹取塚→大池→芝生広場→公園入口広場

二組に分かれ園内を一周案内のあと、広場で生徒全員集合。かぐや姫の事、竹の種類や、富士山に登ったことなど素朴な質問が多くあり、全員が熱心に見学していました。

県民の日：「東海道吉原宿の歴史を訪ねて」
ウォーキングガイド

8月18日9時～11時15分 中田、飯島、金森、梶田各会員がウォーキングガイドを行いました。

陽徳寺→天神社→本国寺→日吉浅間神社→東泉院宝蔵→田中歯科医院→上本陣跡→東海道大宮街道分岐点→鯛屋旅館→長さん小路→吉原本町駅

天候も良く、涼しくて熱中症の心配もない半日でした。スタート前の体操の後、二組に分けてガイドをしましたが、参加者が18名と少なく、少々物足りない感じでした。

吉原宿施設案内の路上銘板は、やはり目立たず不評でした。近くにあるマナー条例の啓蒙標識の方が目に留まってしまいました。

東泉院、日吉浅間神社の定点ガイドは、六所芳和、六所美貴代、六所幸雄各会員が行いました。

9時30分頃より、参加者を2班に分け、前の班(A)を六所芳和会員、後ろの班(B)を六所美貴代会員が案内しました。

石垣のある総門(慶長門)跡から、A班は日吉浅間神社へ、B班は中門跡・登録有形文化財の薬医門へと進み、東泉院の歴史・「富士山大縁起」での赫夜姫・日吉浅間神社の向拝の彫刻・歴代住持の墓などを説明しました。予定時間をオーバーしたこと、反省しています。

東泉院の定点ガイドは昨年より資料が整えられ、分かりやすい説明ができました。内容が豊富なのでウォーキングガイドとは別に実施する方がいいのではと思いました。



吉原地区生涯学習推進会
ロマンと泉の郷ウォークガイド

9月23日(日)8時半～12時、30名の参加を得て、齊藤正英、星野、本田、岡田、漆畑、金森各会員がウォークガイドを行いました。加えて、当会会員6名が研修として参加しました。

コース概要：岳南電車本町駅出発8:34
長学寺→丸池→湧水公園→医王寺→岳南忠霊廟→竹採公園→野村一郎の碑→滝川浅間神社→妙善寺→かがみ石公園→滝不動→永明寺→鎧ガ淵親水公園→原田湧水池公園→湧水源No.1の湧水→原田駅

穆清中学、手紙祭、釈迦、石仏、山本勘助、玉泉寺、ビストロノーベルの椅子、大昭和製紙創業者一族、白隠と竹採塚、野村一郎、小栗判官と照手姫、イボ取り不動と鎧ガ淵の民話を説明しました。また、各神社・仏閣の宗派と歴史、湧水の成り立ちと水量を伝えました。

古い時代の歴史より、戸塚洋二さんや齊藤了英さん、滋与史さんの話に強い関心を寄せていました。水源No.1の水量の多さに参加者たちは感激していました。

天候は良く、参加者たちは泉の郷の昭和の面影などを話題にし、和気あいあいとしたハイキングとなりました。



外部活動等の紹介

妙善寺夜観音:トコちゃんレポート収録

9月8日(日)妙善寺夜観音祭りを、レポーター:飯島会員、構成:星野会員にて収録しました。収録内容は次の通り。

寺庭 長島葉子さんへの虹いろポストについてとコカリナグループリーダー長橋さんへのインタビュー、山門、境内の竹灯籠、ピロシキ・つけナポリタン・生ビール・駄菓子屋コーナー、観音堂・読経・十一面観音・広目天・多聞天、水子地蔵、竹灯籠供養塔の撮影。

事前に取材:住職法話会と座禅教室の静止画、白隠禅師自画像と達磨像。

5時からインタビューまでは、順調に撮影は進みましたが、その後、辺りが雨雲で暗くなり、山門や水子地蔵の映像は、うまく映っているかやや心配。観音堂の夜景も竹灯籠の蠟燭の火が消え照度が不足しているようでした。

傘をさしての撮影で大変でしたが、御住職、寺庭さん、コカリナ演奏の「ハーモニー」の皆さんは大変協力的にお話しいただき、竹かぐやの「Fill-net」の方々も、放映日を楽しみにしているようでした。



ガイド等の予定

◆朝日旅行:東海道53次ウォーキングガイド
10月20日(土)、24日(水)11時~17時東田子の浦駅~三度橋
11月10日(土)、14日(水)9時40分~12時蓼原交差点~富士川

◆富士市シティープロモーション課:公共施設見学会
11月6日(火)13:20~14:20 実相寺ガイド

◆第2回交流会
10月6日(土)午前9時半~12時。
今回は、当会運営についてグループ検討を行い、その後、食事をしながらの交流の時間を持ちます。

◆東部地区観光ボランティアガイド連絡協議会「サミット&フォーラム」が11月15日(木)10時~15時30分、伊豆の国市葦山文化センター(葦山時代劇場)にて行われます。
発表者寿会員。聴講参加者を募集します。

◆市外研修 11月21日(水)8時半~17時予定。
行き先は「二俣城址・信康廟・秋野不矩美術館」。
参加者を募集します。

会議予定

運営会議
10月 9日(月)13:00~
富士北まちづくりセンター
11月 7日(月)13:00~
富士駅南まちづくりセンター

編集会議
12月20日(木)13:30~

次回会報は1月1日号の予定です。

東部地区観光ボランティアガイド連絡協議会 一般研修会

7月19日(木)9:30~11:45、富士宮市民文化センター小ホールにて研修会が行われ、当会から14名が参加しました。

「おもてなしはトイレから」との富士宮市長の挨拶に、観光振興に対する思い入れが感じとれました。座学として室町時代後期の「絹本着色富士曼陀羅図」の解説を受けた後、富士宮のガイドさんの案内で街歩きをしました。

荘厳な富士山本宮浅間大社、織田信長が腰かけた富士見石、浅間神社大宮司富士氏(明治維新の折り赤心隊に加わり官軍に随行)の居館跡などを巡り、歴史を感じさせる街歩きでした。

高砂酒造には明治初期廃仏毀釈により撤去された下山仏が祀られていて、その優美なお姿に心惹かれました。

午後は、希望者のみ世界遺産センターを見学しました。

ガイドマニュアル整備

ガイドマニュアル整備を梶田会員中心に開始しました。

9月11日(火)10:00~12:00 岩松北まちづくりセンターにて、第1回レビュー会を、「雁堤」と「岩本山公園」について行いました。

次回以降のレビュー会は、11月4日(日)9:00~青葉台まちづくりセンターにて「東海道」について、また、11月12日(月)19:00~富士駅南まちづくりセンターにて「田子の浦港みなと公園」、「毘沙門堂&富士塚」について行います。

資料は会員限定HPから入手できます。問合せはHP係まで。

当会交流会

7月3日(火)11時00分から、岩本山公園内レストラン「カグヤ」にて33名の参加を得て会員相互の親睦・交流の推進を目的とした交流会が行われました。

昨年度退会した元副会長の川崎さんへ感謝状と記念品贈呈を行い、センターからの連絡に続いて、食事中は会員同士の情報交換で大いに盛り上がりました。



H30年度ボランティアガイド養成講座開講

9月25日~11月27日、毎週火曜日合計10回、受講生13名で行います。

主な講座内容は、「富士市の歴史・概要・市勢」、「富士市の文化財・名刹」、「富士市の民話」、「東海道吉原宿・東泉院」、「富士山を知る」、「富士市の湧水と泉の郷」です。今回初めての試みとして「ガイド実習」も行います。

観光豆知識 28

「富士川民俗資料館」 記:寿和徳会員

富士川民俗資料館が大規模修理されて、再展示されています。

広見公園にある「稲垣家」よりも相当古い、18世紀前半の建築物とされ、市の有形文化財に指定されています。典型的な「田の字の農家間取り」です。中には、川漁のもじりや養蚕・手漉きの民具等も展示されています。

土・日・祭日の開館です。

場所は岩淵一里塚の近くです。

